

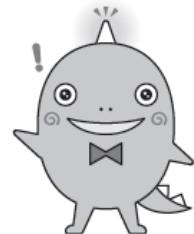
中学校ポピー・今月の学習のポイント（8月号）

◆中1・中2◆

● 5教科：夏休みまでの内容をしっかり復習して、9月からの学習にそなえよう！

夏休み前までに学習した内容で、あやふやなところはないかな？ここでつまづくと、夏休み以降の学習にひびいてくるよ。8月号のポピー教材「FRESTA 夏の復習」でしっかり復習して、夏休み明けの学習にのぞもう！！

もちろん、「FRESTA 夏の復習」もデジ・サポのスケジュール機能に対応しているから、まずきちんと予定をたてて取り組むといいね！学校の宿題もあると思うから、ポピーは夏休みの早めの時期にやってしまうのがおすすめだよ。



○各単元の復習問題

取り組みやすい1ページ1単元構成。

簡単なまとめもついているから、もし解き方を忘れていても、すらすら解けるよ！

＜英語＞ 中1では簡単な英文や単語、中2では未来の文や不定詞などについて復習するよ。

＜数学＞ 計算単元を中心に、しっかり問題練習をしよう。

＜理科＞ 中1では生物の分類、物質の単元を、中2では化学変化、生物のからだの単元を復習できるよ。

＜社会＞ 地理と歴史それぞれ、学校で習ったところを選んでやろう。

＜国語＞ 教科書以外の文章で読解のトレーニング。ほかに、漢字・語句の学習もしよう。

● 「作文・表現力ワーク」で書く力をつけよう！

「作文って何をどう書けばいいのか分からん・・・。」そんなキミにぴったりなのが、「作文・表現力ワーク」だ。

文章から意見や考えを読み取り、それに対する自分の考えを書く練習をするよ。最初から全部自分で書くんじゃなくて、まずは簡単な問題でポイントを理解できるから、無理なく作文が書けるよ。夏休みを使って、作文に強くなろう！

● 「4技能スタディワーク」で英語力をアップ！

4月号に続いて、8月号で「4技能スタディワーク」の2回目をお届けするよ。Listening・Speaking・Reading・Writingの4つの技能を、1つの単元の中で関連する内容で使っていくから、取り組みやすくて、力がつくよ。

年間3回のお届けだから、夏休みの間にまとめてするもよし、次のお届けが12月号だから少しづつ、くりかえして4か月かけてするもよし、もし4月号が終わっていなければそれも含めてするもよし。自分のペースで使ってね。

◆中3◆

●5教科：夏休みまでの復習とともに、受験勉強も本格スタート！

8月号のポピー教材は、「合格へのスタート模擬テスト」「FRESTA 夏の復習」

「1・2年の重点チェック」「合格への入試対策」「おぼえるモード 入試5科の要点」など盛りだくさん！この夏休みから、本格的に受験勉強をスタートさせよう！

「FRESTA 夏の復習」「1・2年の重点チェック」は、まずはデジ・サポのスケジュール機能を使って、きちんと予定をたてて取り組むといいね！



○「合格へのスタート模擬テスト」

夏休み、まずはこの模擬テストをして自分の今の実力をたしかめよう。高校入試でよく出るパターンの問題を、中学1・2年生の学習範囲から出題した、5教科各1回ずつの模擬テスト。答え合わせをして、苦手だった分野を夏休みに重点的に復習するのがおすすめだよ。

○「1・2年の重点チェック」

1・2年で学習した内容の最重要ポイントだけを集めた問題集。1ページ1単元で、簡単なまとめもついているから、すらすら解けて、手軽に復習できるよ。

「合格への入試対策」は手つかずだし、受験勉強なんて、まだ何もしていないよ～』という人も、「1・2年の重点チェック」で夏休みから受験勉強をスタートしてみよう！

○「FRESTA 夏の復習」

中3の夏休み前までの学習内容の中から最重要ポイントをピックアップ。ますます難しくなる9月以降の学習にそなえて、しっかり復習しよう！

＜英語＞ 不定詞や現在完了などの大事な文法事項を復習するよ。

＜数学＞ 中学数学の計算単元の仕上げとして、「式の計算」「平方根」を中心に復習するよ。

＜理科＞ 化学変化とイオン、生命の連続性、運動とエネルギーを復習できるよ。

＜社会＞ 中3から始まった公民の学習。「現代社会」のほかに、「憲法・政治」または「経済」の単元を復習できるよ。キミの学校で習ったほうをやろう。

＜国語＞ 教科書以外の文章で、読解のトレーニングをするよ。

○「合格への入試対策」

2年の11月号～3年12月号の全14回で、中学3年間の学習内容がしっかり復習できる「合格への入試対策」。8月号からは、3年生の学習内容を復習していくよ。まだやっていない号があったら、夏休みにトライしてみよう。

そして、8月号の「強化学習」は英語の「英作文攻略」。ニガテな人が多い英作文を、高校入試の過去問題をもとにくわしく解説するよ。